

令和元年度豊川市下水道事業会計補正予算（第1号）

第5-6号議案

令和元年度豊川市下水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 令和元年度下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出の補正）

第2条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,680,555千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額54,160千円、引継金413,400千円、当年度分損益勘定留保資金1,202,058千円及び当年度利益剰余金処分量10,937千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		収 入		
款 項	既決予定額	補正予定額	計	
		千円	千円	千円
1 資本的収入	1,825,330	9,300	1,834,630	
1 企業債	1,076,000	9,300	1,085,300	

		支 出		
款 項	既決予定額	補正予定額	計	
		千円	千円	千円
1 資本的支出	3,505,916	9,269	3,515,185	
1 建設改良費	1,995,051	9,269	2,004,320	

（特例的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条の2本文を「地方公営企業法施行令（昭和27年政令第403号）

第4条第4項の規定により、当年度に属する債権及び債務として整理する未収金及び未払金の金額は、それぞれ247,670千円及び568,068千円である。」に改める。

（企業債の補正）

第4条 企業債の変更は、「第1表 企業債補正」による。

(利益剰余金の処分の補正)

第5条 予算第10条中「73,368千円」を「10,937千円」に改める。

令和元年11月29日提出

豊川市長 竹本幸夫

第 1 表 企業債補正

起債の目的	補 正		
	限 度 額	起債の方法	利 率
	千円		%
流域下水道事業費	59,900	普通貸借 又は 証券発行	年4.0以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる場合、利率の見直しを行った後においては、当該利率見直し後の利率）
計	1,076,000		

前	補 正			後
償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
	千円		%	
政府資金についてはその融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定する条件による。ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期間を短縮し、又は繰上償還し、若しくは低利債に借換えすることができる。	69,200	同 前	同 前	同 前
	1,085,300			

令和元年度豊川市下水道事業会計補正予算（第1号）に関する説明書

令和元年度豊川市下水道事業会計補正予算実施計画

資本の収入及び支出

収 入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本の収入			千円 1,825,330	千円 9,300	千円 1,834,630	
	1 企業債		1,076,000	9,300	1,085,300	
		1 下水道事業債	1,076,000	9,300	1,085,300	追 加

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本の支出			千円 3,505,916	千円 9,269	千円 3,515,185	
	1 建設改良費		1,995,051	9,269	2,004,320	
		6 流域下水道事業費	60,062	9,269	69,331	追 加

令和元年度豊川市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	176,959
減価償却費	2,416,804
固定資産除却費	2,945
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,338
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,433
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	1,774
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,634
長期前受金戻入額	△ 1,217,690
受取利息	△ 2
支払利息	238,156
有形固定資産売却損	2
有形固定資産売却益	△ 2
預かり金の増減額 (△は減少)	3,000
未収金の増減額 (△は増加)	28,950
未払金の増減額 (△は減少)	△ 429,902
小計	1,244,399
利息の受取額	2
利息の支払額	△ 238,156
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,006,245
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 1,860,758
有形固定資産の売却による収入	2
国庫補助金等による収入	543,234
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	92,201
受益者負担金等収入	59,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,165,588
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,085,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,510,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 425,565
資金増加額 (又は減少額)	△ 584,908
資金期首残高	737,682
資金期末残高	152,774

令和元年度豊川市下水道事業予定貸借対照表 (当年度分)

(令和2年3月31日)

(単位 千円)

		資 産 の 部	
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土 地		368,388	
ロ 建 物	61,180		
減価償却累計額	△ 4,425	56,755	
ハ 構 築 物	65,124,703		
減価償却累計額	△ 2,182,937	62,941,766	
ニ 機 械 及 び 装 置	638,965		
減価償却累計額	△ 91,174	547,791	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	4,719		
減価償却累計額	△ 1,197	3,522	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	3,064		
減価償却累計額	△ 430	2,634	
ト 建 設 仮 勘 定		0	
有形固定資産合計		63,920,856	
(2) 無形固定資産			
イ 電 話 加 入 権		283	
ロ 施 設 利 用 権		2,681,636	
無形固定資産合計		2,681,919	
(3) 投資その他資産			
イ 出 資 金		3,223	
投資その他資産合計		3,223	
固定資産合計			66,605,998

2 流動資産

(1) 現金預金		152,774
(2) 未収金	218,720	
貸倒引当金	<u>△ 3,338</u>	<u>215,382</u>
流動資産合計		<u>368,156</u>
資産合計		<u><u>66,974,154</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>20,747,365</u>	
企業債合計		20,747,365
(2) 引当金		
イ 退職給付引当金	<u>10,634</u>	
引当金合計		<u>10,634</u>
固定負債合計		20,757,999

4 流動負債

(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>1,414,457</u>	
企業債合計		1,414,457
(2) 未払金		138,166
(3) 引当金		
イ 賞与引当金	17,339	
ロ 法定福利費引当金	<u>3,248</u>	
引当金合計		20,587
(4) その他流動負債		<u>3,000</u>
流動負債合計		1,576,210

5 繰延収益

(1) 長期前受金	33,574,675
収益化累計額	<u>△ 1,217,690</u>
繰延収益合計	<u>32,356,985</u>
負債合計	<u><u>54,691,194</u></u>

資本の部

6 資本金	11,831,387
7 剰余金	
(1) 資本剰余金	
イ 受贈財産評価額	165,145
ロ 他会計補助金	89,097
ハ 国庫補助金	<u>20,372</u>
資本剰余金合計	274,614
(2) 利益剰余金	
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>176,959</u>
利益剰余金合計	<u>176,959</u>
剰余金合計	<u>451,573</u>
資本合計	<u>12,282,960</u>
負債資本合計	<u><u>66,974,154</u></u>

平成31年度豊川市下水道事業開始貸借対照表

(平成31年 4月 1日)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		350,037	
ロ 建 物	61,180		
減価償却累計額	<u>0</u>	61,180	
ハ 構 築 物	63,348,710		
減価償却累計額	<u>0</u>	63,348,710	
ニ 機 械 及 び 装 置	631,401		
減価償却累計額	<u>0</u>	631,401	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	4,719		
減価償却累計額	<u>0</u>	4,719	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	1,323		
減価償却累計額	<u>0</u>	1,323	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>0</u>	
有形固定資産合計			64,397,370

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		282	
ロ 施 設 利 用 権		<u>2,754,735</u>	
無形固定資産合計			2,755,017

(3) 投 資 そ の 他 資 産

イ 出 資 金		<u>3,223</u>	
投資その他資産合計			<u>3,223</u>
固定資産合計			67,155,610

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金		737,682	
(2) 未 収 金		<u>247,670</u>	
流動資産合計			<u>985,352</u>
資 産 合 計			<u><u>68,140,962</u></u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>21,076,521</u>	
企業債合計			21,076,521
固定負債合計			21,076,521

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>1,510,865</u>	
企業債合計			1,510,865
(2) 未 払 金		567,882	
(3) その他流動負債		<u>186</u>	
流動負債合計			2,078,933

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金		<u>32,986,140</u>	
繰延収益合計			<u>32,986,140</u>
負 債 合 計			<u><u>56,141,594</u></u>

資 本 の 部

6 資 本 金		11,732,002
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	165,145	
ロ 他 会 計 補 助 金	89,097	
ハ 国 庫 補 助 金	<u>13,124</u>	
資本剰余金合計		<u>267,366</u>
剰 余 金 合 計		<u>267,366</u>
資 本 合 計		<u>11,999,368</u>
負 債 資 本 合 計		<u>68,140,962</u>

注 記

I. 重要な会計方針

当年度から、地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

1 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

建物 18～50年

構築物 10～50年

機械及び装置 10～30年

車両及び運搬具 4～6年

工具、器具及び備品 4～15年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法 45年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、計上額は「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、下水道事業会計が負担すべき退職手当の総額としている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払いに備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

令和元年度豊川市下水道事業会計補正予算説明書

資本的収入及び支出

収入

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説明	
1 資本的収入				千円 1,825,330	千円 9,300	千円 1,834,630		
	1 企業債			1,076,000	9,300	1,085,300		
		1 下水道事業債			1,076,000	9,300	1,085,300	
			2 流域下水道事業債			59,900	9,300	69,200
合 計				1,825,330	9,300	1,834,630		

支出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説明	
1 資本的支出				千円 3,505,916	千円 9,269	千円 3,515,185		
	1 建設改良費			1,995,051	9,269	2,004,320		
		6 流域下水道事業費			60,062	9,269	69,331	
			23 負担金			60,062	9,269	69,331
合 計				3,505,916	9,269	3,515,185		

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、8,274,816千円である。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

豊川市下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、公共下水道事業及び農業集落排水事業の2つを報告セグメントとしている。

2 報告セグメントごとの営業収益等

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（単位 千円）

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業	合計
営業収益	2,705,283	70,303	2,775,586
営業費用	3,413,265	145,257	3,558,522
営業損益	△707,982	△74,954	△782,936
経常損益	205,780	8,479	214,259
セグメント資産	64,992,011	1,982,143	66,974,154
セグメント負債	52,882,726	1,808,468	54,691,194
その他の項目			
他会計繰入金	760,111	64,888	824,999
減価償却費	2,318,925	97,879	2,416,804
特別利益	5	3	8
特別損失	35,876	1,432	37,308
固定資産増加額	1,846,190	23,948	1,870,138